

令和4年度県立高等学校入学者選抜学力検査 国語

■ねらいと出題の内容、今後の学習指導のために

㊦ 言語事項に関する問題

【ねらい】

中学校までに学習した漢字や用言などの、言語事項についての理解度・定着度をみる問題です。

【出題の内容】

漢字の読み書き、用言の活用に関する問題です。

【今後の学習指導のために】

漢字については、多様な語句の形で使ったり、様々な文脈の中で使ったりすることができるように、「書くこと」の指導と関連させ、工夫して指導することが必要です。

用言の活用については、活用を正確に理解させるとともに、会話や文章の中での実際の用例に沿った指導が求められます。

㊧ 韻文・俳句

【ねらい】

複数の俳句を提示し、理解と鑑賞力をみる問題です。今年度は、「数」を詠んだ俳句からの出題です。

【作者】俳句 A橋本 鶏二 B高浜 虚子 C加古 宗也
D松江 重頼 E与謝 蕪村 F能村 登四郎

【出題の内容】

- 1 基本的な俳句についての知識をもとに、俳句に詠まれた情景を読み取る問題です。
- 2 基本的な俳句についての知識をもとに、俳句の表現を解釈する問題です。
- 3 俳句についての鑑賞文をもとに、俳句に詠まれた情景や心情を読み取る問題です。

【今後の学習指導のために】

韻文の指導の際には、言葉に込められたイメージを読み味わい、作者の思いや情景を読み取る力を養うことが大切です。一つのテーマを決め複数の作品を関連付けて指導することも有効です。

㊨ 古典

【ねらい】

基本的な古典の読解を通して、基礎的な知識と読解力をみる問題です。

【出典】

「可笑記」「顔氏家訓」

【出題の内容】

- 1 古典の基礎である歴史的仮名遣いの問題です。
- 2 本文の内容に関する会話文を完成させることにより、本文の内容の理解を確認する問題です。
- 3 本文の内容を適切に読み取る問題です。

【今後の学習指導のために】

音読などを通して古典に親しむ態度を育て、話の展開や内容を根拠を持って読み取る力を身に付けさせることが大切です。また、他の作品や資料との関連性を考えて読むことなど、作品の世界をより深く、広く理解することを目指した指導の工夫が求められます。

㊩ 文学的文章

【ねらい】

文学的文章の読解を通して、場面の展開や心情を読み取る力、表現力などをみる問題です。

【出典】

「オリオンの上」(有島希音)

【出題の内容】

- 1 登場人物の心情を適切に読み取る問題です。
- 2 登場人物の心情の変化を文脈に沿って適切に読み取り、定められた字数でまとめる問題です。
- 3 登場人物の行動を解釈し、その心情を読み取る問題です。
- 4 登場人物の心情を物語の展開を踏まえて適切に読み取る問題です。
- 5 情景描写を理解し、小説の表現を適切に解釈する問題です。

【今後の学習指導のために】

文学的文章の読解の指導では、人物の動作や会話、情景描写などを根拠に登場人物の心情を正しく読み取る力を身に付けさせることが求められます。さまざまな表現の効果について十分に読み味わうことも大切です。また、授業において、表現等の言語活動を充実させたり、文章表現の差異を考えさせたりすることも求められます。

五 説明的文章

【ねらい】

説明的文章の読解を通して、論理的な思考力や読解力をみる問題です。

【出典】

「はじめての哲学」(藤田正勝)

【出題の内容】

- 1 熟語の構成に関する問題です。
- 2 本文の表現について、対応する内容を適切に読み取る問題です。
- 3 本文の内容について、会話文の読み取りを通して適切に解釈する問題です。
- 4 文章全体における、ある段落の働きを確認する問題です。
- 5 文章全体から筆者の意見を適切に捉え、定められた字数でまとめる問題です。

【今後の学習指導のために】

説明的文章を読解するには、論理の展開を把握し、文章の要旨を捉える力を身に付けさせることが求められます。また、読み取った内容を的確に表現する力も求められており、「読むこと」と「書くこと」のバランスのとれた指導が望まれます。

六 条件作文

【ねらい】

非連続型テキストから正確に情報を読み取り、質問項目の回答状況の関連性に着目し、指示された観点に基づいて自分の考えや意見を明確にして書くことを通して、論理的な思考力や表現力を総合的にみる問題です。

【出題の内容】

文化庁「国語に関する世論調査」(令和元年度)の質問と回答結果を示した資料から読み取ったことに対して、自分の考えや意見を述べる問題です。

【今後の学習指導のために】

資料から読み取った情報を比較したり結び付けたりして考察を深める力や、資料の内容や自分自身の知見を根拠として、考えや意見を整理して書く力を身に付けさせる指導が必要です。

■まとめ

国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成のためには、まず基礎的・基本的事項の確実な習得が求められます。そして、知識及び技能、また「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」など思考力、判断力、表現力等の相互の関連を図り、言語活動の充実に努めながら、計画的に指導することが大切です。

■正解(別紙)

■正答率・部分正答率(%)

国語	番号	大		一								二			
		小	1								2	1	2	3	
			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)				(1)	(2)
	正答率	95.4	57.0	50.4	92.3	55.1	88.4	52.2	78.4	30.1	91.8	26.9	88.1	78.1	
	部分正答率														

三				四					
1	2			1	2	3	4		5
	(1)	(2)	(3)				(1)	(2)	
93.8	30.1	5.9	50.8	82.0	21.4	75.9	92.9	3.9	64.7
		24.2			40.8			29.6	

五					六	
1	2	3		4	5	
		(1)	(2)			
82.7	80.6	37.4	51.0	54.0	1.6	14.1
					34.9	75.2